

1. 活動報告（事務局 記）

—11月6日（日）会員13名で、田んぼへの肥料（馬糞の厩肥）の散布、湿地帯の松の倒木の処理、蓮池そばの水路の漏水対処、草原ゾーンの草刈り、ため池の橋の補修の作業を行いました。

—11月7日（月）～11日（金） ①蓮田横水路の水漏れ修復実施 ②第一水戸まへの掘り上げ真砂片付け ③水車水路の落ち葉、取り除き水量調整 ④水車グリースアップ 等々臨時作業を原田会長が実施しました。

—11月16日（水）稲作体験令和5年度用 田んぼの荒起こしを辻野会員で実施
17日（木）親子自然観察隊前準備注連縄つくりを吉富会員・原田会長 駐車場の草刈りを辻野会員で実施しました。

—11月19日（土）親子自然観察隊は「里山の暮らし」として、焼き芋・注連縄作りをしました。落ち葉・小枝を集めてもらい、火をつけて、サツマイモを濡れた新聞紙とアルミホイルで包み、火の中に入れてもらいました。焼いている間に、藁を使って注連縄を作ってもらいました。焼きあがったサツマイモを食べてもらい「美味しかった」と親子で堪能してもらいました。参加者は、親14名、子18名、幼児2名、山大学生2名、会員14名でした。

2. 今後の予定（事務局 記） ◎行事

- 11月27日（日）維持活動（草刈り・エコアップ）
- 12月17日（土）収穫祭準備（洗米・会場づくり）
- 12月18日（日）収穫祭（餅つき）親子自然観察隊・二俣瀬子ども会・他招聘
- 12月18日（日）親子自然観察隊解隊式
- 12月25日（日）維持活動・年末懇親会

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 「難聴」 （原田満洲夫 記）

最近、会員の方や個人的に付き合っている方・近所の方その他多くの方に難聴の兆しがあり会話が全く通じないとかこちらの言う主旨が呑み込めない方と多々問題が発生する。

こちらの言う事を勝手に解釈し自分の思い込みで回答し意思疎通が全く通じない事で話や伝達事を途中でやめることしばしば！ 精神的に非常に悪くなる。それもどなたも高い補聴器を購入されているのに“雑音が入るとか喧しい”とかでほとんど通常懸けていない。

そこで言いたい電気メーカーさん、もっと良い耳をつくってください。

5. 親子自然観察隊（里山の暮らし）（菅 隊長 記）

素晴らしいお天気に恵まれ、今年は「焼き芋」とお正月に使う輪飾りを作る作業を取り入れました。あいにく今年は地元のお祭りと重なり、会員の皆さんが多く欠席されましたが、少ない会員の皆さんのご協力が無事、二つの行事を終えることができました。隊員の出席者もコロナ下で心配されましたが親子34名の出席がありにぎやかに開催されました。

最初に隊員と保護者全員で落ち葉集めを行いました。思った以上に親子が頑張り、あっという間に枯れ葉も集まり、早速、全員を集めマッチと新聞紙を使って「火付け」を行いました。初めての子供も多かったようですが、保護者の方と一緒に火をつけたのちウチワ（団扇）を使って思った以上に上手に火をつけていました。しかし焼き芋の数が120個ほどと多く、焚火も大きくしなければならず、団扇では間に合わないので途中「ブロワー」で火吹きを行いました。今年の焚火には「もみ殻」を入れました、お芋がうまく焼けるとのことでした。

火の勢が強くなったので途中よりアルミホイルに包んだお芋を火の中に入れました、その上にもみ殻をかぶせておきました。お芋の包み込みも隊員の子供たち全員で行いました。新聞紙でお芋を包み、水で濡らしたのち、アルミホイルでさらに包み込みます。

お芋の焼ける間に「輪飾りづくり」を行いました。11時までに全員の輪飾りが出来上がりました。親も子も一緒になって輪飾りを一生懸命に作りました、何とか上手に出来上がったようです。

11時過ぎには焼き芋もほぼ焼き上がり全員で「試食会」です。焼いたお芋は大振り、1個でおなか一杯になるほどでした、たくさん焼きましたので、1家族1個をお土産に持って帰っていただきました。もちろんビオトープの会員にもお土産ができました。

11時半には終了宣言を行えました、輪飾りも焼き芋も無事終了し、全員満足して帰られたようです、会員の皆さん、お疲れさまでした。



みんなで落ち葉を集めました



火をつけました



お芋が焼きあがりました



輪飾りづくりを行いました



みんな頑張っています

親子自然観察隊の感想

★篠田さん（母）

しめ縄作りも焼き芋も、とても楽しかったです。しめ縄作りは難しかったけれど、最終的に上手に作り上げることが出来て、達成感があり嬉しかったです。焼き芋は、あんなに手順があるとは思ってもおらず、美味しい焼き芋を作るにはコツがあるんだなあと学びました。みんなで、火起こしして作り、その場でみんなで食べる焼き芋の美味しさは格別でした。ありがとうございました。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(81) アオビタイトンボ *Brachydiplax chalybea flavovittata* Ris トンボ科

このトンボは山口県では2010年に宇部市で初めて発見された南方種のトンボでいわゆる迷入種と呼ばれるトンボです。もともと山口県にはいませんでしたが、すでに居ついて今年で12年目に入りますので、「定着」したといえるかもしれませんね。筆者が初めてこのトンボを撮影したのは2009年の9月、鹿児島県のため池でした。

シオカラトンボの仲間で、大きさは4センチほどと小さくかわいいトンボです。生息場所は植生の豊かな池に棲むようですが、近頃はため池の管理が悪く、居心地が悪いのか同じ池に長く居つきません。あちこちと移動しているようです。

山口県では6月中旬ごろから羽化を始め、11月ごろまで見られますが、発生池が変化するために探すのが大変です。一般のトンボと同じように夏場に多く見られます、宇部市では常磐公園（菖蒲園の池）や常盤動物園のため池で少ないですが見られます。

シオカラトンボもいますが、大きさが違いますので見分けがつくと思います。



鹿児島産 ♂



下関産 ♂



山陽小野田市産 ♀



ヤゴの上陸



羽化の様子



♂の羽化

7. 会よりの連絡事項

- 1) 来る12月の「収穫祭Part-2」餅つきでは従来は宇部市長へ参加招請をしていましたが、今回は会員でもあります宇部市議会議長の河崎 運さんの参加招請をいたしました。
- 2) 前田会員が家庭の事情も含み事務局を辞め、一会員となります。ビオトープの全体のエコアップのリーダー的活動を長年して頂いていました。外来植生及び外来動物について駆除及び在来種の繁茂間引き等活動日以外でも並々ならぬ努力をされました。
今後は今以上に手分けをしてビオトープとしての維持管理をしていくこととなります。
- 3) 収穫祭の日程で洗米は永山酒造さんの機器を利用させて頂きますが土曜日休日都合で16日午後1時より辻野・渡辺・原田で行います

8. 編集後記 (大野 靖子 記)

周南で年間8回していた福川子どもクラブも、コロナ禍で令和2年度1回、令和3年度2回開催でした。今年度は秋から3回開催です。余裕があればもう1回かも…。久々に開催するとスタッフもうきうき。年間8回していた時は仕事と家庭とこの活動と、結構な負担でしたが、この3年間、とくに活動せずに過ごすなか振り返ってみると、子どもたちだけでなく、大人にとっても居場所だったのだなとつくづく思います。とはいえ、事務量はなるだけ減らせたらいいなと、世の中デジタルになっているので、他の団体様にならい、グーグルやライン等で、参加受付や連絡を模索していきたいと思います。応募もコロナ前は35名前後あったのに、現在はコロナの状況をみて単発開催のため、12名前後…。やっぱり年間または半年毎で予定を示した募集が良いのかなど、来年度の開催方法についていろいろ悩みます。来年度はビオトープ、ぜひよろしく願いいたします。